

議会だより  そでがうら

議会のひろば

市議会



No.207

6月定例会

令和8年8月1日

発行：千葉県袖ヶ浦市議会

特集

座談会

袖ヶ浦市社会福祉協議会×市議会



Contents

- | | | | |
|----------------------|-----|--------------------------|------|
| ●座談会 みんなのひろば | 2～3 | ●委員会レポート | 6～8 |
| ●所管事務調査、陳情・意見書 | 4 | ●14人が市政を問う 一般質問 | 8～15 |
| ●議決結果、表彰 | 5 | ●袖ヶ浦のさんぽ道、9月定例会の予定 | 16 |

袖ヶ浦市 社会福祉協議会 ×市議会

略して社協
しやきよう

社会福祉協議会の組織について

社会福祉協議会とは

地域住民やボランティア、福祉関係者、行政機関等の協力を得て、福祉の街づくりをめざす民間の組織です。

社会福祉協議会は、戦後間もない昭和26年に、民間の社会福祉活動の強化を図るため、全国、都道府県に誕生しました。その後、市町村へ組織を拡大(袖ヶ浦市は昭和41年に設立)し、福祉活動への住民参加を進めながら、現在まで一貫して地域福祉活動の中心的役割を果たしてきました。

運営の原則は、地域の住民、福祉関係者等の参加・協力を得て、活動することを大きな特長とし、民間組織としての自主性と、広く住民や福祉関係者に支えられた公共性という、二つの側面を併せた組織です。

最近市民の方からどのような声があるのか？

●令和8年度からスタートした地域福祉活動計画を作成するため、アンケート調査やヒアリングを行ったところ、高齢社会の中で増えている身寄りのない高齢者への対応が必要との意見がありました。また災害が激甚化している中で、大勢のボランティアに協力をいただき、効果的に災害ボランティアセンターを運営することが求められています。

ICTを活用した災害への対応については？

●大きな災害があると数百人規模でボランティアの方が来ま

参加者



事務局長 山上 拓也



会長 森岡 かおり



事務局次長 手島 陽一



常務理事 杉浦 弘樹

ボッチャで交流会

出前講座

●袖ヶ浦市社会福祉協議会は昭和41年11月に法人格を取得しまして、千葉県で2番目に発足した大変歴史のある組織です。市区町村の社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図ることを目的とする中核的な団体ということで、社会福祉法第109条に規定され、住民主体の理念に基づいて、共に生きる豊かな地域社会を推進することを使命としています。様々な事業を行っていますが、例えば地域住民・福祉団体と協力した住民同士の支えあい活動、ボランティア活動、民生委員やシニアクラブ等の事務局、赤い羽根の共同募金運動、成年後見関連事業など行政からの

市役所と社会福祉協議会の役割とは？

委託事業を合わせて総合的に地域福祉活動を進めております。また市内6地区(昭和、長浦、蔵波、根形、平岡、中富)でサロン活動などそれぞれの地区社会福祉協議会の事業展開も行い、支えあい活動による福祉の地域づくりを進めています。

●福祉を必要とする方へ一番良い形で提供するため、双方の役割があります。行政は法律に基づいた部分でやっていく、我々民間団体は法律に基づかない部分においても行政を側面で支え補完する、両方の力を合わせお互い手を携えて進めていくことで、福祉を推進していると考え

ています。



成年後見制度研修会



地区社協バスハイク



座談会全景

す。受付前に並んで個人情報を書いてもらい、ボランティア保険をかけるなどの登録を行ってから活動に出発していただきますが、そこに辿り着くまでの待ち時間が長いことが課題としてあります。そこでICTを活用して、インターネットのクラウド上で個人情報を入力して受付ができるようにすることやインターネットを通じて保険に入るなどの仕組みが、県下全体で少しずつ進んでいます。我々も今年度から導入して訓練に活用し、備えていきたいと考えています。

**※民生委員・児童委員のなり手が
いなくなっている原因について**

●ひと昔前は60歳が定年で、60歳



災害ボランティアセンター運営訓練

からボランティアで地域を支える活動を始めてみようという流れがありました。今は定年延長や年金受給年齢の引き上げ、老後不安の解消として働き続ける人が増えてきているなど、民生委員・児童委員のなり手をとりにくく環境の変化が大きく影響していると思います。

※民生委員：厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、常に住民の立場に立つて相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める方々。
※児童委員：地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ことなどの相談・支援等を行う方々で民生委員が兼務しています。

市に何か提案することはありますか？

●様々な事業活動をしていますので、「こういう活動が必要なのは」とか、常時行っている事業でも、「こりマイクをした方がより住民にとっていいのでは」とか、日常的に市とは信頼関係に基づいて意見交換して、少しでも事業が良くなるように努めています。

●地域に根差して顔の見える関係を培うことで実体験や様々な情報が多々あるので、そのようなところを市へ伝えていきたいと思っています。

議会だよりを読んだことがありますか？

●いつも表紙の写真が、すごくきれいに撮れていますね。

●カラーがぱっと目を引き付けますね。

さうじい...

社会福祉協議会には、行政では手の行き届かないところを補完して、お困りの方や高齢者等をサポートしていただいております。一方で、福祉全般を支えるボランティア活動者が足りない状況にある事は、切実な問題であると感じました。今後一層、社会福祉協議会の活動を広く知ってもらい、地域に根ざした福祉活動の裾野が広がり、多くの方が協力していただけるようになればと思います。

(座談会担当：稲毛、小島)

お問い合わせ

(ぜひ社協HPをご覧ください)

袖ヶ浦市社会福祉協議会については

☎0438(63)3888



第2期君津地域広域廃棄物処理事業の進捗状況について

建設経済常任委員会では、第2期君津地域広域廃棄物処理事業の進捗状況について、事業概要の確認及び現地調査を行いました。

事業概要

(1)発注者

木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、
鴨川市、南房総市、鋸南町

(2)事業者

株式会社上総安房クリーンシステム

(3)建設地

富津市新富2-1-3

(4)処理方式

低炭素型ガス化溶融方式
(発電出力12,100kW)

(5)施設規模

486トン/日(162トン/日×3炉)

(6)運営期間

令和9年4月～令和29年3月



現地調査の様子

陳情

教育予算に関する陳情

採択

子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会から提出された2件の陳情について、全員賛成で採択され、国へ意見書が提出されました。

◆「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情書

◆「国における2027年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書

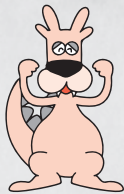
- 子どもたち一人ひとりにきめ細やかな指導をするため、公立義務教育諸学校及び公立高等学校等の教職員定数を改善する計画を早期に策定・実現すること。
 - 安心して学校生活を送れるよう、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等相談体制を充実させること。
 - 安全・安心で個別最適な学びを実現する施設環境の整備にむけ、バリアフリー化や、洋式・多目的トイレ、空調設備設置等の公立学校施設整備費を充実すること。
 - GIGAスクール構想を着実に推進し、学校現場における様々な課題に対応できる環境を整えること。
- など、全8項目

令和8年6月定例会の議決結果

6月定例会において議案14件、陳情2件、発議案2件が審議されました。賛否が分かれた案件は下記のとおりです。

全会一致で原案可決
等された議案

17件



賛否が分かれた案件 ○＝賛成 ●＝反対

議 案 等	議 決 結 果	付 託 委 員 会	山 本 浩 太 郎	鈴 木 嵩 人	小 島 仁 美	高 橋 大 志	田 丸 有 輝 子	渡 辺 あ ゆ み	佐 藤 博 文	伊 東 章 良	木 村 淑 子	稲 毛 茂 徳	湯 浅 榮	根 本 駿 輔	山 口 進	在 原 直 樹	小 国 勇 議 長	緒 方 妙 子	励 波 久 子	佐 藤 麗 子	笹 生 猛	榎 本 雅 司	塚 本 幸 子	篠 崎 典 之	
国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	可決	文教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	●	○	○	○	○	○	●

- 議長は、地方自治法第116条の規定により、採決に加わりません。
 - 議案名中の「袖ヶ浦市」及び、「～について」は省略表示してあります。
 - 詳細については袖ヶ浦市ホームページでご確認ください。
- 袖ヶ浦市ホームページ <https://www.city.sodegaura.lg.jp>

議決結果は
こちらから



袖ヶ浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

反対討論

- 「子ども・子育て支援金」を、無関係な医療保険から徴収すること。課税限度額が毎年のように引き上げられていること。協会けんぽと比べて2倍以上も高い負担額となっていることなど、物価高騰が市民生活を直撃している中、国保税の値上げは、生活・医療に直結するもので、法定外繰り入れを復活させ値上げを回避すべきであり反対する。

賛成討論

- 国民健康保険制度を将来にわたり安定的に運営し、市民の健康を支えるため、制度の持続可能性の確保、子育て支援を含めた公平な負担への配慮等を評価し、賛成する。
- 国民健康保険税の引き上げは市民生活へ大きく影響するものの、基金残高が減少する中、安定した医療保険制度を維持するためにはやむを得ない改正として賛成する。

※委員会、本会議において行われた討論の主な部分を要約しています。

永年在職議員表彰

永年にわたり地方自治の発展に寄与した功績により、
全国市議会議長会から表彰されました。

議員10年以上

山口 進
議員



こんなことが
決まりました

6月定例会

会期 6/9～6/26 18日間

- 条例の一部改正…………… 10件
- 契約の締結…………… 1件
- 専決処分の承認…………… 3件
- 陳情…………… 2件
- 発議案…………… 2件

合計 18件 その他 報告4件

文教福祉常任委員会

宮城県 白石市・岩沼市

学びの多様化学校と 高齢者支援・地域の絆づくりを視察

白石市の「白石きぼう学園」は、不登校児童生徒を対象とした東北初の学びの多様化学校です。「学校らしくない学校」をコンセプトに、子どもの自己選択・自己決定を尊重しながら、一人ひとりの状況に応じた学習支援や居場所づくりを実践していました。教育支援センターと連携し、多様な学びを保障する取り組みは、本市における不登校支援を考える上で大変参考になりました。

岩沼市では、高齢者支援と地域の絆づくりについて学びました。介護予防と買物支援を組み合わせた「お買い物ミニデイ事業」や、専門職による運動指導を行う「健幸いきいき広場」など、健康づくりと社会参加を促進する取り組みが行われていました。また、シニアクラブによる見守り活動や多世代交流など、高齢者が地域で活躍する仕組みも構築されていました。今回の視察で得た知見を、本市の教育・福祉施策のさらなる充実に活かしていきます。



白石市での視察の様子



岩沼市での視察の様子

総務企画常任委員会

北海道 芽室町・帯広市

議会改革・活性化と行政手続きの オンライン化・業務効率化に向けた 取組について

芽室町議会では、既に10年も前から議会活性化計画書を策定しているとのことで視察に伺いました。議会活性化計画書は議会運営委員会、総務経済常任委員会、厚生文教常任委員会の所管別になっていますが、どの委員会でも基本的な進め方は共通でした。平成25年議会基本条例の制定から始まり同時に①政治倫理条例制定、②議会会議条例制定、③通年議会制の導入、④文書質問制度スタート、⑤傍聴者への配慮、⑥議会改革諮問会議、⑦議会だより通年発行をスタートさせています。本市としても、必要なところは取り入れていきます。

帯広市のDX推進を視察し、1市3町の広域連携、事業を見直す「トリミング」による人員・時間の再配置、生成AIや窓口予約、不登校支援メタバースの活用を確認しました。本市は既に高いデジタル実装率を有する強みを活かしつつ、浮いた時間を相談業務など対人サービスへ振り向け、住民の幸福度向上につながるDXを進める必要があります。また、近隣自治体と現場レベルで情報共有する横のつながりも、本市の広域連携の参考となりました。



芽室町での視察の様子



帯広市での視察の様子

議会広報特別委員会

千葉県 茂原市

よりわかりやすく、身近な広報誌へ

議会広報特別委員会では5月19日、千葉県茂原市議会を訪問し、広報活動のあり方を視察しました。本市が目指す「手に取ってもらえる広報誌」の実現に向けた調査のためです。

茂原市では近年、全ページフルカラー化を導入し、予算の推移をグラフで見せるなど、徹底して「視認性」を高める工夫がなされていました。表紙以外のページもカラー化されているため、記事のイラストや見出し、写真などもカラフルで読みやすくなっていました。発行部数の調整により、コストを抑えながら、全ページカラー化を実現する実務的な手法も学びました。また、本市同様にQRコードでスマートフォンなどから各議員の質問動画へアクセスできるなど視聴者数の増加の努力をしているとのことでした。

今回の視察で得たわかりやすさの追求と、いっそうの「デジタル連動」の知見を生かし、皆さまに議会をより身近に感じていただける広報紙づくりに向け、具体的な改善を検討していきます。



茂原市での視察の様子①



茂原市での視察の様子②

建設経済常任委員会

宮城県 多賀城市・仙台市

駅近傍のスポーツ公園整備・製品プラスチック回収事業の先進地を視察

多賀城市では、JR国府多賀城駅の近傍にスポーツ公園整備を進め「TAGAJYO CENTRAL PARK」を令和8年3月に開場いたしました。従来の体育施設に捉われず、スケートボード等のアーバンスポーツを選択し、幼い子から大人が憩いの場や運動の場として利用しており、袖ヶ浦市においても、長浦駅に隣接した臨海スポーツセンターの老朽化に伴い、プロポーザルを行うなど新たな施設への転換が課題化しており参考となる点が大いに感じられました。

100万人都市である仙台市では、容器包装プラスチックの収集事業を元々展開していたことから、先駆けて大臣認定スキームでの製品プラスチック収集に取り組んでいるものの、家庭ゴミへの製品プラスチックの混入など資源化への一層の周知が課題であるとの事でありました。仙台市ではキャラクターを活用した啓発「ワケルくん」「ワケルネット」など周知活動は幅広く認知されていても、分別の徹底は道半ばであるとの説明でありました。今後、袖ヶ浦市で廃プラスチック回収に取り組む上での課題整理や手法など大いに参考になりました。



多賀城市での視察の様子



仙台市での視察の様子

14人が



市政を 問う 一般質問

一般質問とは、皆さんの生活にかかわる大切な内容について、議員が市長などに考えを聞くものです。議員本人がQ&Aを要約し作成した原稿を質問者順に掲載しています。

未掲載の内容も含め、一般質問の様子をホームページで録画配信中ですのでご覧ください。会議録は9月頃に掲載予定です。

各議員のQRコードから一般質問の映像が閲覧できます。会議録は市議会ホームページで閲覧できます。

会議録はこちらから→

袖ヶ浦市議会

検索



「議会のひろば」より

本会議映像のインターネットライブ中継をしています。ご自宅などのパソコン、スマートフォン、タブレット端末などで本会議の映像がリアルタイムでご覧いただけます。ぜひ、ご覧ください。

併せて、議案資料等のホームページでの公開もしています。(録画配信については、会議終了後約1週間で公開します)

傍聴時に音声機器の貸し出しをしていますので、必要な方は議会事務局までお申し付けください。

〒299-0292 袖ヶ浦市坂戸市場1-1
Tel 0438-62-3450 Fax 0438-63-5130
☒ sode32@city.sodegaura.chiba.jp

録画配信はこちらから→



委員会レポート

議会運営委員会

茨城県 取手市

議会の更なるオンライン対応と 議長選挙の透明化

茨城県取手市議会を訪問し、「委員会・一般質問のオンライン化」および「議長選挙における所信表明」について調査しました。

取手市議会では、Zoomを活用したハイブリッド型委員会を実施しており、電子表決システムでは通信不良と区別するための「棄権」ボタンを設けるなど、運用上の工夫が見られました。また、360度カメラによる委員会のYouTube配信も行われ、バリアフリーの観点からも好評を得ているとのことでした。

また、一般質問でも令和5年にオンライン制度を導入。公務・疾病・育児等の事情がある議員が、開始1時間前までに申し出ることで自宅等から質問できる仕組みです。

議長・副議長選挙では、候補者が選挙前に所信表明を行う制度を平成24年から導入し、透明性の向上と説明責任の確保に役立てています。本市議会においても参考となる取組と考えます。



取手市での視察の様子①



取手市での視察の様子②



た ま る ゆ き こ
田丸有輝子

議員

新袖の友



質問項目

- 職員のエンゲージメントの現状と課題について

Q 職員のエンゲージメント調査の現状と課題は

A 人事制度・職場改善など組織作りに取り組みます

Q 「家族や知人に本市で働くことを勧めたい」と回答した職員は24%のみだった。どう改善を進めるのか。

A 研修の実施や昇任候補者試験の見直し、多面的評価と窓口録画カメラ導入を検討し、取り組んでいきます。

Q 「人員確保と適正配置」を求める声が33件と最多だった。分野変更を伴う大幅な異動ではなく、部内で専門性や経験を積み重ねられるジョブローテーションに見直していかないか。

A 希望を考慮するとともに、組織全体の状況を勘案した人事配置に努めている中で、関連する部門に配属される期間が長くなる職員も存在し、専門性を高める配置も行っています。

Q カスハラとパワハラの実状と対策は。

A アンケートでカスハラを受けた又は見聞きしたことがある職員は4割でカスタマーハラスメント対策マニュアルを作成予定です。またR3年度にハラスメント防止の指針を策定。5件のパワハラ対応をしました。相談窓口は職員課と千葉県市町村公平委員会となります。

市長に問う！今こそ抜本的な組織改革を！！

Q 職員が誇りとやりがいを持ち、自らの能力を市民サービスに発揮できる組織を本気で目指すため、①全庁的な業務の棚卸し、②相談や情報提供をしやすい体制整備、③人材確保と定着を見据えた人事改革、④エンゲージメント調査の継続実施と目標設定、これらをスピード感を持って一体的に進めるべきではないか。

A 調査により職員の声を直接把握できました。組織全体を見据えた人事配置と組織運営を行い、市民サービスの向上と持続性の確保につなげるとともに、職員が誇りを持って働ける環境づくりを検討していきます。



つ か も と さ ち こ
塚本幸子

議員

無会派の会



質問項目

- (仮称) かずさインターチェンジの具現化と内陸部への企業誘致について
- 再生資源物の屋外保管事業場と不法投棄の対応策について

Q H19年に設置決定している(仮称)かずさ※ICの早期具現化を

A 経済効果は大きいので、今後も国や県に早期事業化を要望していきます

H21年度に予備設計実施以降も、着工に至らず

Q 以前よりも進展がみられるのか。これまでの動きは。

A 予備設計が実施されましたが、事業着手に至っていません。市では、早期事業化の要望活動を行っています。

Q スマートICと通常のICとでは何が異なるのか。

A スマートICは設置を希望する自治体等が事業の主体となり、費用の一部を負担し整備を進めるものです。また、ETC通行車に限定しており、料金所設備等が簡易となることから、通常のICに比べ、一般的に整備期間は短く、費用も安価となる傾向があります。

県へも事業費負担を働きかけ、早期開通の糸口を

Q スマートICのほうが早く整備できるのなら、早期の開通を優先させ企業誘致に取り組み、地域経済活性化につなげたほうがよいのではないか。

A スマートICは考えていません。県に対しても早期事業化の要望を継続していきます。

Q どのような企業をどこに誘致するかなどの目標を持っているのか。誘致のための計画を持って広くプレゼンテーションの機会をつくらないか。

A 企業誘致に関する具体的な目標は持っていません。プレゼンテーションの場を持つ予定もありません。

再生資源物の屋外保管事業場 未だに条例違反

Q 前回3月議会での質問以降、違反、不法投棄に具体的に指導と改善計画をどうしてきたのか。

A 保管基準に不適合な状況を確認した場合には、直ちに指導し、改善を求めています。都市計画法違反の3事業場からは是正計画書が提出されており、是正が適正に行われるよう指導しています。

Q 袖ヶ浦IC近隣の不法投棄、土地所有者責任もある。河川敷や民有地の持ち主の確認をするべきではないか。

A 県の所管業務なので、今後もその動向を注視します。

※IC：インターチェンジ



た か は し た い し
高橋 大志

議員

清風会



質問項目

- 広域交通ネットワークの充実と戦略的な土地利用による持続可能なまちづくりについて
- 保育施設における災害避難対策の具体化と進捗状況について

Q ※ I C 周辺の土地活用と
広域的な道路ネットワーク整備は

A 地区計画による産業誘致と
道路整備による交通分散を図ります

IC周辺の土地活用と三番線通りのバイパス整備

- Q** 施政方針にある I C 周辺の土地活用の具体策は。
- A** 市街化調整区域における地区計画ガイドラインに基づき、I C 周辺 1 km 圏内で物流や観光施設等の立地を図ります。
- Q** I C 付近は市街化調整区域が多いがそのハードルをどのように下げるか。
- A** 地域振興に寄与する土地利用について地区計画制度の活用により規制誘導を図ります。
- Q** 50 年以上続く市街化調整区域を廃止し市主体の土地コントロールにしないか。
- A** 市街化調整区域の廃止は考えていません。
- Q** (仮称) かずさ I C 整備による国道 409 号の交通量増加の対策は。
- A** 三番線通りの整備により交通分散を図ります。
- Q** 三番線通りについて今年度はどのような整備を行うか。
- A** 三番線通りとのぞみ野通りとの交差点部において歩道の新設、道路拡幅工事を予定しています。
- Q** 三番線通りと中川橋をつなぐ橋を設置しないか。
- A** 膨大な事業費が想定され、J R 久留里線が隣接している事から現時点では考えていません。

保育施設における避難対策の進捗状況は

- Q** 昨年 7 月の津波注意報の際、指定避難所である昭和小学、中学校を開設しなかったのはなぜか。
- A** 注意報であった事から、まずは 5 交流センターの開設を行ったものです。
- Q** 考え得る全ての避難行動を市側から提案し、それを元に各保育施設に決定して貰えないか。
- A** 保育施設に安全確保を行う義務があります。

※ I C : インターチェンジ



き む ら よ し こ
木村 淑子

議員

公明党



質問項目

- 地域猫活動の支援と共生社会の実現について
- 自転車の安全利用と交通マナー向上について
- 市民の健康を守る取組について

Q 地域猫活動をしている団体等への
支援は

A 新たに「さくらねこ無料不妊去勢手術事業」の運用を実施しています

地域猫活動への支援・周知は

- Q** 昨年度まで予算に計上されていた「地域猫活動団体等補助金」が無くなったが、R8 年度から活動団体等への支援は、どのように行っていくのか。
- A** 昨年 7 月から試行している「さくらねこ無料不妊去勢手術事業」を今年度から本格的に実施しています。
- Q** この事業の支援対象を何う。
- A** 手術は「飼い主のいない猫」に限定され、手術後に里親を探すことや譲渡は禁止。適正な管理など条件があり、県動物愛護推進員と職員が現地訪問し判断します。
- Q** 活動について市民に理解してもらうため、ボランティア証を付けて活動するべき。配布しないか。
- A** ボランティア証の交付は有効ですが、管理体制などの課題も想定されるため、先進事例を調査研究します。

自転車の安全利用のために

- Q** 交通安全教室で自転車安全学習アプリを活用しないか。
- A** 現在は警察官講話と DVD 視聴。今後調査研究します。
- Q** 自転車用ヘルメット着用率向上と安全確保のため、再度、購入費の助成を検討しないか。
- A** R6 年度に限定して実施し、理解の促進や普及の底上げに一定の成果があったと考えており、計画通り事業を終了しました。引き続き、啓発活動に努めます。
- Q** 道路環境整備は不可欠。事故の多い箇所等に注意喚起と安全確保のためカラー舗装など先行し施工しないか。
- A** 現地調査のうえ、安全対策を必要に応じて実施します。

带状疱疹ワクチン接種助成の対象者拡大を

- Q** 带状疱疹ワクチン接種助成の対象者拡大を
- A** まずは定期接種を確実に進めるため、現時点において任意接種の助成は考えていません。



こ じ ま ひ と み
小島 仁美

議員

新袖の友



質問項目

- 市内体育施設の再整備を通じた地域拠点の活性化や持続可能なスポーツ環境の構築について
- 本市が策定した地球温暖化対策実行計画について

Q 長浦駅前再整備の重視している点は

A 体育館維持し民間連携で複合施設へ

市内体育施設の再整備について

Q 現在の体育館はコート外のスペースが狭く、空調もないため熱中症リスクが高い状況。再整備では安全スペースを確保した正規の競技規格を満たすことおよび空調完備を必須条件とすべきではないか。

A 安全確保や競技環境の向上、近年の熱中症対策など利用者が安心してスポーツに親しめる環境整備は重要な視点です。当市としてもそれらの視点を踏まえ、現在整備手法について検討を進めています。

Q 毎年約8億円の施設更新費が不足する中、PFIやネーミングライツの導入、国庫補助金獲得のための省エネ基準ZEB化やZEB Readyを必須条件とすべきではないか。

A 民間の力を活かす整備手法や、ネーミングライツの導入について、今後検討を進めてまいります。

市内カーボンニュートラルの施策について

Q 先進的な営農型太陽光の導入には、大学や企業との連携が重要。本市が農地を実証の場として提供し連携を進めないか、課題と併せて伺う。

A 専門的知見が必要なため、民間等との連携を視野に検討します。想定される課題は日射量減少による収量への影響、農作業の効率低下、初期費用、地域の合意形成、農業との両立の実現性などであります。

Q 給食センターの※カーボンオフセットの取組を身近な教材とし、児童や保護者へ周知するため、給食だよりや献立表へ記載しないか。

A 給食センターでの取組周知は、市のカーボンニュートラルの周知にも有効と考えます。献立表は紙面の都合上困難ですが、給食だよりにおいて取り扱っていきたいと考えております。

※カーボンオフセット：削減努力を行っても避けられないCO₂などの温室効果ガス排出を、排出量に見合う削減・吸収活動への投資で埋め合わせる考え方。(環境省HP要約)



す ず き し ゅ う と
鈴木 嵩人

議員

啓政会



質問項目

- 地域公共交通について
- 有害鳥獣対策について

Q 本市における今後の有害鳥獣対策の取組は

A 捕獲体制の充実と担い手育成を推進していきます

地域公共交通の今後の方向性は

Q 地域ごとの特性や将来的な人口動態を踏まえ、今後どのような考え方で公共交通施策を展開していくのか。

A 地域ごとの特性や移動ニーズを把握し、自家用車に依存しない移動手段の確保や公共交通機関の乗継改善、運行サービスの充実など、誰もが利用しやすい公共交通環境の整備を進めます。また、次期地域公共交通計画の策定や基礎調査を通じ、持続可能な公共交通ネットワークの構築に取り組みます。

有害鳥獣対策の現状と今後の取組は

Q 本市における有害鳥獣による被害や捕獲の現状はどうか。また、捕獲体制の充実や担い手育成、県との連携を含め、今後の有害鳥獣対策をどのように進めていくのか。

A 農作物被害は前年度と比較して減少している一方、捕獲状況ではイノシシの捕獲頭数が増加しています。今後は、捕獲従事者の確保や担い手育成が重要と認識し、わな猟免許取得支援や講習会の実施、地域対策組織への支援を継続していきます。また、県との連携については、千葉県中南部地域市町村野生鳥獣対策会議を通じて情報共有や要望活動を行い、広域的な対策を推進します。

被害抑制に向けた対策強化は

Q 市街地での出没や被害相談も見られる中、今後どのように対策強化を図っていくのか。

A 近年は市街地での出没や通報も増加傾向にあることから、状況に応じた対応を行うとともに、防除と駆除を組み合わせる取組を進め、今後も効果的な有害鳥獣対策について調査研究していきます。



わた なべ
渡辺 あゆみ

議員

無会派の会



質問項目

- 食事が十分にとれていない児童生徒への支援について

Q 食事が十分にとれていない児童生徒への支援は

A 関係機関が連携し支援、今年度から支援対象児童等見守り事業を開始

食事が十分にとれない児童生徒への支援体制

Q 食事が十分にとれていない児童生徒を学校ではどのように把握し、支援につなげているのか。

A 日頃の様子や教育相談、アンケート、身体測定などから状況を把握し、欠席状況や表情、体重の変化なども含め総合的に判断しています。必要に応じて生活支援や児童相談所などと連携し、安全確保を最優先に対応します。

食品などを家庭へ届ける新たな訪問支援を開始

Q 国の補助金を活用した訪問支援を一般質問で提案してきた。今年度から新たに開始する支援対象児童等見守り事業の実施状況は。

A 10月から、民間団体と連携した「支援対象児童等見守り事業」を開始予定です。食品などの提供をきっかけに家庭を定期的に訪問し、生活上の困りごとを把握するとともに、必要な支援につなげます。児童福祉に関する相談業務の経験者を含む複数名で訪問し、孤立防止と継続的な見守りを行います。

給食が主な食事となる子どもたちと弁当の日

Q 給食が主な食事となっている児童生徒の存在を踏まえ、困難を抱える家庭の子どもが傷つく可能性もある「弁当の日」は見直すべきではないか。

A 弁当の日に限らず、学校生活では児童生徒が傷ついたり疎外感を抱いたりする可能性があることを認識しています。食事が十分にとれない児童生徒への支援は最優先とし、必要に応じて関係機関と連携して対応しています。一方で、弁当の日には食育などの教育的意義があることから、回数を減らして継続するとしました。



い な げ し げ の り
稲 毛 茂 徳

議員

清風会



質問項目

- 令和8年2月執行の第51回衆議院議員選挙での本市の投票結果を踏まえた、今後の投票率向上について

Q 投票所に行かなくても投票できる、移動投票所等の導入を進める考えは

A 人員体制等の課題で困難。投票機会確保等は今後も調査研究を続ける

75歳以上は投票率低下が著しいが

Q 高齢者の投票率維持向上に向けた支援は。

A 公共交通が脆弱な地域では「チョイソコがうら」を利用して頂きたい。高齢者施設等に入所の方は施設での不在者投票や要介護5の方には郵便等を利用した投票の利用を勧めている。その他、投票に行けない方々への支援は、介護保険のサービスを利用することで、投票所等への移動支援を受けられる場合があります。

若い世代への選挙広報について

Q どのように若い世代に届けるか、SNSの利用に若い世代の意見を取り入れているのか。

A 若い世代の利用率の高いLINE・インスタ・Xを利用して発信を行っている。発信内容は、若い世代の意見を取り入れ興味を持ってもらう工夫が必要と考えています。

期日前投票の利便性向上は

Q 期日前投票が50%を超えている。期日前投票所の投票時間延長や増設をするべきでは。

A 選挙立会人の確保や拘束時間が長くなるため、投票時間の延長は今後の動向から慎重に判断していきます。増設に関しては、以前に検討したが適所が確保できず、現時点では考えていません。

Q 他市では、当日の投票時間繰り上げや電子投票導入等の報道がある。本市でも世相を反映した選挙のあり方を検討しないか。

A 電子投票については、国政選挙では利用できず有権者が混乱する可能性が考えられます。また、開票時間の短縮は見込めるが費用面で課題があります。当日の投票時間の繰り上げは、県内でも増えてきており、アンケートなど有権者の意見を伺い検討します。



さ そう たけし
笹生 猛

議員

創袖クラブ



質問項目

- 総合計画と個別計画、事務事業、評価の管理等について
- 職員数の増減状況と組織運営について

Q 職員の負担を減らすスクラップ・アンド・ビルドの進め方は

A 業務量調査を行い、スクラップを意識し仕事することです

総合計画と個別計画、事務事業、評価の管理等

- Q** 市が現在行っている事務事業の総数と管理単位は。
- A** 予算計上ベースで約700の事業があります。予算科目で整理され、優先度の高いものを「実施計画事業」として選定しています。
- Q** 新設された「計画推進課」の役割と、個別計画との連携は。
- A** 計画推進課は実施計画事業の進行管理や調整を担っています。個別計画の進捗管理は各部署で行っており、一元的に管理する仕組みにはなっていません。
- Q** 各事業がどの上位計画・施策に基づいているか、一覧で把握できる仕組みはあるか。
- A** 一覧的な資料はありませんが、主要事業は予算参考・決算の説明書に施策体系を記載しており、どの施策に基づくものか把握できるようになっています。
- Q** 「総合計画」と「協働のまちづくり条例」の優先順位や関係性は。
- A** 上下関係というより目的が異なります。ただし、条例に基づく推進計画は総合計画中の個別計画として位置づけられているという解釈です。

職員数の増減状況と組織運営について

- Q** 上司への信頼や職場環境改善の具体策は。
- A** 対面でのコミュニケーションによる信頼関係の構築が重要です。
- Q** 職員の負担軽減に向けた「事務事業のスクラップ・アンド・ビルド」の進め方は。
- A** 業務量調査を実施しており、現場の職員と対話しながら進めていきます。



やまもと こう たろう
山本 浩太郎

議員

無会派の会



質問項目

- 教育現場の現状について

Q ICT環境の整備についてどのような目的があるのか

A 課題解決のために必要な情報活用能力を高め、学びを深めます

ICT環境の整備について

- Q** ICT環境の整備により書く力の低下の懸念を踏まえ、タブレットを使った学習にどのように取り組んでいるか。
- A** 授業の基本は板書とノート指導であり、ノートに子どもたちが自分の考えをまとめて書いたり、黒板に書かれた内容を書き写したりすることは思考の過程として重要であると考えています。その上で、タブレット端末を道具として活用しながら学習に取り組んでいます。
- Q** AIについてどのように活用しているのか。
- A** 生成AIについて、教員が校務で活用していますが、児童生徒が作文を書いたり、作品制作をしたりといった学習活動においては、未だ活用していません。今後、学習指導要領の改訂等を注視しながら、先行事例や研修等、教育現場におけるAIの活用について調査研究していきます。

学校行事の来賓者について

- Q** 行事当日における来賓者への対応について、学校ごとに違いがあるのか。
- A** 来賓をお招きする主体は学校行事を運営する学校であるため、細かな対応については学校ごとに違いがあると認識しています。例えば、入学式や卒業式における、来賓紹介の仕方については、学校の規模や式の進行の状況など実情に応じて各校で判断しています。

修学旅行について

- Q** 本市の修学旅行の際、旅行会社を介さず責任を問うことが難しいような団体が関わっているのか。
- A** 本市の小中学校の修学旅行において、そのような団体は関わっていません。



と な み ひ さ こ
励波 久子

議員

日本共産党 袖ヶ浦市議団



質問項目

- 立地適正化計画と公共施設の再配置について
- 中高生の居場所づくりについて

Q 中高生の多様な居場所を

A 中高生等の意見やニーズを踏まえ
取り組んでいきたいと考えています

学習だけでない中高生の居場所を地域に

Q 平岡交流センターで実施している中高生の居場所を考えるワークショップは、子ども達の意見が尊重されその意見が形になる、とてもすばらしい取組。他の交流センターや南庁舎2階の会議室でも居場所として活用できないか。

A 平岡の取組をそのまま実施することは考えていませんが、得たノウハウを活用し交流センターが中高生の居場所、交流の場となるよう進めていきたいと考えています。南庁舎会議室の活用は現在考えていません。

コンパクトなまち国費で誘導「立地適正化計画」

Q 居住誘導区域は市街化区域の袖ヶ浦・長浦・横田駅周辺、代宿、のぞみ野のみ。それ以外は切り捨てられていると感じる。誘導は強制でなく、計画の実効性は。

A 人口減少を見据え生活サービスやコミュニティーが維持されるよう居住を緩やかに誘導しますが、区域外の既存集落の居住環境の維持にも取り組みます。5年ごとに評価・検証を行い実効性の確保に努めます。

Q 策定義務でないのに策定しないと国の交付金は出さないとするやり方は「地方自治に反する」と意見すべき。

A 策定することで得られる交付金の可能性もありメリットとして捉えています。

公共施設の再配置の全体像見えず

Q 30年間で公共施設の床面積を26%削減する目標だが現状は。

A 減もあるが、学校の増築や市庁舎整備で6518㎡増加となっています。

Q 協働のまちづくり条例があるが、身近な公共施設の今後を市民と共に考える場をなぜ市長は持たないのか。

A 必要に応じて利用者アンケートや説明会等を開催し、意見を伺いながら取組を進めています。



しの ざ き の り ゆ き
篠崎 典之

議員

日本共産党 袖ヶ浦市議団



質問項目

- 「重層的支援体制整備事業」の現状と制度間の「隙間」解消および市民の不利益防止について
- 高圧CO₂パイプライン敷設のリスクに対する市長の権限行使と政治責任について

Q 重層的支援の進捗と制度の隙間 による不利益の防止策は

A 関係機関と情報を共有し適切な支援
と体制整備に努めます

重層的支援体制の現状と不利益防止の仕組み

Q 福祉等の複雑・複合化する要支援世帯への包括的支援をする「重層的支援体制整備事業」の進捗と課題は。

A 部署を問わず幅広く相談を受け止めています。ひきこもりや認知症で支援に抵抗がある方の状況把握が困難なことなどが課題です。

Q 制度の隙間により医療保険が重複適用され、多額の自己負担が生じた。再発防止のため一元的に情報を把握し、警告を発する仕組みや適切な助言を行う体制は。

A 各窓口で重層的な視点で説明を行い、関係機関と連携して相談支援を行っています。ケアマネジャーなどと情報を共有し、ニーズに応じた適切なサービスが提供されるよう体制を整えます。組織として経済的負担を回避できるよう適切に取り組みます。

CO₂パイプライン敷設リスク周知と市長の責務

Q 県の連絡会議の資料にはCO₂漏えい時の意識消失などのリスクが記されているが、市は公聴会も開催しない。市長の責任放棄ではないか。開催を強く求める。

A 安全確保は国の責任で検証されるべきものであり、市が主体となり公聴会開催の考えはありません。検討状況を踏まえ、適切に周知を図っていきます。

Q 安全確保について市が独自に科学的検証を行う体制を構築しないか。

A 国の保安規制により担保されるものと認識しており、市独自の検証などを行う考えはありません。

Q 道路占用許可について安全確認や住民合意などが無い許可はしないと明言しないか。

A 占用許可は、申請が法令に基づく基準を満たしているか確認する手続です。住民の合意などはこの基準に含まれていません。



さとうひろふみ
佐藤博文

議員

啓政会



質問項目

- 持続可能な袖ヶ浦市財政運営と将来の税収確保について

Q 袖ヶ浦市の将来の税収見通しと財政の持続性は

A 税収は微増の見込みも
厳しい財政運営を見込んでいます

今後の市税収入の見通しについて

Q 個人市民税や法人市民税、固定資産税を含めた税収の将来見通しとリスクについて伺う。

A 個人市民税は人口横ばいで微増の見込みです。法人市民税は企業動向や原油・為替の影響を受けやすく、固定資産税は設備投資に依存し、近年は好調であるが、景気後退時の下振れリスクがあると認識しています。

将来を見据えた市財政の持続可能性について

Q 人件費や公債費の増加が見込まれる中、本市財政の持続可能性と財政調整基金の考え方について伺う。

A 物価高騰等の影響により厳しい財政運営が見込まれますが、財政調整基金は適正水準で推移しており、今後もこの水準の確保を目指していきます。

今後、税収を増やすための取組について

Q 個人市民税の安定確保に向け、人口流入や移住促進についてどのような施策を重視しているのか。

A 生産年齢人口の維持が重要であり、定住促進や就業機会の確保に取り組んでいます。総合戦略に基づき転入促進や転出抑制を進めるとともに、地理的優位性を活かした施策により、活気あるまちづくりを推進します。

Q 税収の安定化に向けた企業誘致や産業政策について、市の考えを伺う。

A 既存企業の成長支援と新規企業誘致、産業の多様化によるリスク分散は重要と認識しています。設備投資や成長分野への投資を促進し、企業活動を支援しながら地域経済の活性化に努めていきます。

Q ふるさと納税収支改善に向けた取組について伺う。

A 寄附者への情報発信や関係性構築を進めるとともに、市の魅力を活かした返礼品開拓を推進します。また、シティプロモーションと連動した取組により、収支改善に取り組んでいきます。



いとうあきら
伊東章良

議員

清風会



質問項目

- 袖ヶ浦市における公共施設のあり方について
- 「そでがうら・ふれあいプラン」策定方針について

Q 市が考える公共施設の課題と対応方針は

A 老朽化・情勢変化・更新費用に総量
適正化、予防保全等に対応していく

旧総合教育センターの今後について

Q 旧総合教育センターは通学路に面し、耐震構造がとられていない。安全確保のため、解体前倒しや跡地活用を検討すべきでは。

A 職員が定期巡回し、施設状況に応じて対応しています。解体は令和10年度を目途に調査や費用算定を行い、周辺住民にも配慮し計画的に進めます。跡地は教育財産であり、まず教育施策の観点から検討します。

内陸部における余裕教室の有効活用

Q 内陸部小学校の余裕教室を、学校の魅力向上や地域活性化に活かすべきでは。『特認校制度』や地域活動拠点としての活用は。

A 余裕教室は少人数指導教室、児童会室、放課後児童クラブ等に活用しています。『特認校制度』は教育ビジョン後期計画に位置付け、地域特性を活かした教育活動を推進します。

難病施策と当事者参画について

Q ふれあいプラン見直しで、難病当事者の相談、就労、福祉サービス利用の課題を明確に位置付けるべきでは。

A 難病患者への支援は次期(第5期)障害者福祉基本計画の協議事項として整理します。国の基本指針や本市の実情を踏まえ、施策を整理し、事業者アンケートを通じ当事者の状況を伺うことも可能とします。

Q 計画策定にあたり、難病当事者から直接意見を聴く場を設け、協議会委員の拡充も検討すべきでは。

A 協議会で必要と判断した場合、委員以外の難病当事者から意見や説明を聴くことも可能です。相談窓口等でも意見把握に努めます。委員の拡充も必要に応じ協議会で検討します。

休日にいきたい！
いちおしスポット

アンケートにご協力ください

あなたの声がこれからの議会だよりを育てます。ぜひ「もっとこうしてほしい」をお聞かせください！率直な感想をお待ちしています。



アンケートフォームはこちらから

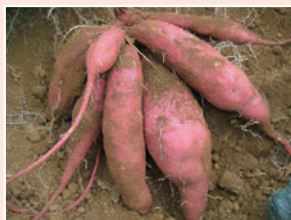


かつては草競馬で知られていました！ 草けいばの丘収穫園

東京ドイツ村内にある「草けいばの丘収穫園」は、かつて草競馬が行われていた歴史を持つ、自然豊かな体験農園です。

こちらでは、5月下旬からのじゃがいも掘りをはじめ、秋には落花生やさつまいもなど、季節ごとに旬の味覚の収穫体験が楽しめます。

掘り取り料金は1袋1,000円とお手頃で、時期によっては新鮮な朝採れ野菜の直売も行われています。土に触れ、自分で収穫する喜びは、お子様にとっても特別な思い出になるはず。



ぜひご家族皆さまで、季節の恵みを体験しにお出かけしてみませんか。

土に触れる
楽しさを
味わってみてね！



草けいばの丘収穫園 ※別途、東京ドイツ村の入園料がかかります。

住所：袖ヶ浦市川原井181-10 TEL：080-5016-7347
営業時間：10:00～16:00（なくなり次第終了、要予約）
定休日：月～金曜日

9月定例会

日	月	火	水	木	金	土
8/23	8/24	8/25	8/26	8/27	8/28	8/29
	一般質問受付	議会運営委員会				
8/30	8/31	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5
		本会議 10:00～				
9/6	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12
	本会議（一般質問） 9:30～	本会議（一般質問） 9:30～	本会議（一般質問） 9:30～	本会議 （一般質問予備日）	総務企画 常任委員会	
9/13	9/14	9/15	9/16	9/17	9/18	9/19
	文教福祉 常任委員会	建設経済 常任委員会		決算審査 特別委員会	決算審査 特別委員会	
9/20	9/21	9/22	9/23	9/24	9/25	9/26
	敬老の日	国民の休日	秋分の日	決算審査 特別委員会		
9/27	9/28	9/29	9/30			
	本会議 10:00～					

*請願・陳情の受付は8月21日までです。

*9月定例会の予定は、8月25日に開催される議会運営委員会で正式決定されます。

*一般質問通告一覧表は9月1日頃、ホームページに掲載する予定です。

議会だより  そでがうら

議会のひろば

No.207 発行日：令和8年8月1日

発行：袖ヶ浦市議会 編集：議会広報特別委員会
〒299-0292 袖ヶ浦市坂戸市場1-1
Tel 0438-62-3450（直通）



袖ヶ浦市議会
袖ヶ浦市公式ホームページ



「議会のひろば」は、環境にやさしい植物油インキおよび環境に配慮した用紙を使用しています。



見やすく、読み間違えにくい、ユニバーサルデザインフォントを採用しています。